

IDCJ 評価部主催「第 32 回フェッショナル統計分析ワークショップ」

(2022/3/8,9 & 3/7 事前研修) (Zoom 開催)

参加者アンケート結果 (n=8)

1. 「ヒストグラム・平均値・中央値・標準偏差」について学びました。満足度や今後の改善点に関するコメントをお願いします。

- 基本的なことも含めて大変丁寧にお教えいただきました。もし 10 点満点だとしますと、満点をはるかに超える満足度です。
- とても良く理解できました。
- これまでたくさん見てきた正規分布図と標準偏差の意味がわかり、これまでもやっと理解していたことがクリアになったと感じています。
- 大満足です。
- お恥ずかしながら数学が中三で止まっているので、標準偏差あたりから難しさを意識してしまいました。実際の活動にどう役立てるかのイメージまでは至りませんでした。自分の活動にどう役立てるかのイメージを事前にもてるとよかったです。
- とてもよくわかりました。(未だに)シグマって何だっけ状態にもかかわらず、二乗とルートの意味も、 $n-1$ の意味も分かるので、公式見た時になんとなく理解できちゃいます。これは手計算でそれぞれの意味をきちんと理解できた賜物と思います。10 マルク紙幣、メルカリで 2,000 円で売ってました。(講師注: 10 マルク紙幣には、正規分布のグラフと式が印刷されております。)
- ヒストグラムに関して当たり前のもののような感じで接していて考えたことがなかったので、意識することで統計全体が視覚的にイメージできるようになってよかったです。
- わかりやすかったです。

2. 「t検定(事前・事後のt検定、2群のt検定)」について学びました。満足度や今後の改善点に関するコメントをお願いします。

- 説明がとても分かりやすく、また質問をしやすい雰囲気をつくってくださり、不安感なく取り組みました。これまでも T 検定を学んだことがありましたが、これまでで一番わかりやすかったです。大変満足していますし、このような研修をご準備くださいました佐々木先生やご関係のみなさまに大変感謝しています。
- とても良く理解できました。今後の研究に役立てます。
- 1と同じですが、何度も見てきたt検定の意味がわかりました。これからは、感覚的に「え？そういう分析？」と思っていたことを、きちんと言語化して反論や賛同できると思います。また、自分でも、検定できるようになった(独り立ちできているか不安はのこりますが(笑))ので、やってみたいことがいろいろ浮かんできました。
- 大満足です。
- 評価のコツのようなものがうっすらつかめた気がします。
- とてもよくわかりました。AB、BA、そしてそもそも t 検定とは何なのか、理解できたと思います。また、佐々木先生のおかげで、大学の統計の先生が職員証にギネスのストラップを使用していた謎が解けました。

ビールが好きだからと言っていました、ゴセット先生にかけていることを生徒に指摘して欲しかったんだと思います(そういう事をしかける先生なんです...). 他のセッションにも通ずることなのですが、手計算や Excel での練習問題を行っているとき、計算に夢中になりすぎて今自分が何を目的としてこの計算をしているのか、というのが分からなくなることがありました。テキストのヘッダーに簡単なセッション名などが載っていると、迷子になりにくいかなと思いました。マリックさんにもきちんと出典が付いていたのにクスツとしました。

- t 検定の語源からエピソードでお話していただけたおかげで文系脳の自分も拒否反応なく頭に入っていました。
- わかりやすかったです。

3. 「比率の検定(カイ二乗検定)」について学びました。満足度や今後の改善点に関するコメントをお願いします。

- 説明が分かりやすくとてもよく理解できました。「検定を自分の調査や研究で生かしていきたい」と強く思えました。
- とても良く理解できました。
- 統計の背後に哲学があるということが、とても感動的でした。何でも数値にすることに反感や違和感を感じていましたが、哲学に基づいた分析ができる、していいということがわかり、統計が好きになれそうです。障害福祉分野で、ノーマライゼーションを目指して、「望ましい価値を追求します」と宣言して統計を活用していきたいです。
- 大満足です。
- アウトカムが 2 区分変数になる RQ はたくさんあると思うので、カイ二乗検定が使いこなせたらたくさん使い道があるんだろうと夢が広がりました。海外では小数点以下が意外と適当とか、(1 日目の話ですが) <0.05 未満で優位と言えるのは Fisher 先生の一声によるものとか)、堅苦しそうな統計解析を少し身近に感じさせてくれるお話が個人的にはとてもよかったです。
- 正直、私には難しかったです。
- アンケート項目に思想や文化の影響のイメージはあったのですが、分析にここまで影響するとは思っていませんでしたので、今後の分析の選択に幅が出来ましたありがとうございました。
- もう少し演習時間がほしかったです。

4. 「回帰分析」について学びました。満足度や今後の改善点に関するコメントをお願いします。

- とても分かりやすかったです。いろいろな調査を設計して取り組んでみたいと思いました。
- やり方は分かったのですが、何を変数に含めたら良いのか、なんとなくモヤモヤしています。ただ、これは手法の問題で講義の問題ではありません。
- 人格を磨くより RCT ということでしょうか... でも、自分の価値を追求するとしたら、変数の選択に自分の価値を反映させた分析もありなのではないかと、今は思います。やってみると、理想論ではどうにもならないのかもしれませんが。。。手計算とグラフで「なるほど！」と脳内でつながった瞬間がありました。これも、いろいろやってみたいことが思い浮かんでいます。
- 公共政策で大切な分野なので、もう少し深掘りしたかったです

- 最初は理解できるか不安でしたが、練習問題を何回も繰り返して頂き、①~④の見方、それぞれの解釈の仕方に慣れてきたことで、ひとりでもできるようになったんじゃないかという気になっています。各練習の最後にさくっとグラフ化してみたのですがなかなかきれいに可視化することができず、図を書くセンスが問われる、と先生が仰っていたのがとてもよく分かりました。テキストの input of data のところですが、「行」というよりは「列」の方が正しい表記かなと思いましたが、いかがでしょうか？ 因みに東京都新宿区は未だに有料ごみ袋はなく、コンビニのレジ袋でごみ出せます。(講師注:「列」が正しいです。今後修正したいと存じます。)
- 正直私には難しかったです。
- 回帰分析は複雑という拒否反応があったのですが、丁寧に事例と共に説明して下さったお陰で拒否反応がでなかったです。ありがとうございました。
- 重回帰分析のイメージについてもう少し時間をさいてほしかったです

5. 「事前研修: インパクト評価の基本デザインと実例」について、満足度や今後の改善点に関するコメントをお願いします。

- とても分かりやすくこれからの研修が楽しみになりました。
- とても良かったです。頭の整理になりました。
- 事前学習があったことで、本編での研修の見通しが持てるのは安心です。また、本編の理解度が深まると感じました。1日目と今日とでは、実例を見る目が変わっているのを実感します。
- 公共政策で大切な分野なので、もう少し深掘りしたかったです。
- インパクト評価の種類や、デザインするという事が具体的につかめました。
- 研究・調査をする時は計画の段階が一番大事と言われてきたので、インパクト評価にはどのようなデザインが適しているのか分かりやすくまとめて頂き、とてもためになりました。今後のバイブルになりそうです。一つ気になったのが倫理的配慮です。ご存じと思いますが、医療分野で人を対象とする研究を行う場合は、定められた倫理指針に則って「研究の対象者となる方々が不利益を被らないか」「利益相反がないか」などを特定の委員会でもとても厳密に審査され、それをパスしないと研究を始めることができないのですが、今回の講義では倫理的なお話がほとんど出ませんでした。
- 過去の経験から、途上国で介入研究・調査をする時の個人情報の扱いが雑過ぎたり、比較対象群への倫理的配慮が全くなかったり(介入群だけ得してそれで終わり?)、利益相反がこっそり気になっていたり、というのがずっと気になっていたのですが、社会学?評価学?国際協力?といった他の分野では、倫理的配慮に関するガイドラインやルールはあるのでしょうか？
- 事例がふんだんにあって大変楽しかったです！
- 参考になりました。

6. Zoom 開催については、いかがでしたか？

- オンライン開催の不安感もなく、事前のエクセルの設定やモニターを用意しておくことなど、多方面に分かりやすいご案内をいただきました。調査を今後どうしていきたいかなど、ブレイクアウトルームでもう少しお話できる時間があると研修の息抜きとモチベーションの向上につながると思いました。

- Zoomのおかげで参加できました。
- この研修に限らないと思いますが、参加された他のみなさんとのおしゃべり(情報交換)ができないのはもったいないなと思いました。研修は、集中して聞くことができ、距離的なデメリットもなく(田舎に住んでいるので)良かったです。
- 大満足です。
- 良いと思います。ありがとうございました。
- 移動がなくとても楽です。一方で、誰も顔が出ていない状態だと、講師の先生も反応が分からず進めにくいと思うので、可能な人はカメラをオンにできるとより雰囲気の良い講義になるのではと思いました。
- 日常のパソコンを活用して作業するので、非日常感がなかったのも、終わった後に目から鱗が落ちたはずだけど、また鱗がはえてしまった。。がなかった気がします。
- よかったです

7. その他、ご自由にコメントやご要望をお書きください。

- 研修を企画、ご準備くださいました佐々木先生をはじめ、国際開発センターのみなさまには感謝申し上げます。これまで統計処理は苦手意識が強く、そのネガティブなイメージによって統計的調査を積極的に取り組まないという負のスパイラルになってしまっていたと思いますが、今後、統計的調査にぜひ取り組んでみたいという意欲が生まれました。数字全般に関する苦手意識も低下し、日常生活のなかでも調査研究でも数値化して取り組むことについて前向きに取り組めるきっかけとなりました。質問しやすい雰囲気をつくってください、「苦手でもここにいいのだ」と思えました。早速に知人や研究仲間にこの講座のすばらしさを多数報告／紹介させていただきました。
- 最近のエクセルの機能にも感動しました。私が統計学を勉強したときにエクセルがあったら、統計学を好きになっていたかもしれません(笑)このシートは5段階評価ではないのですね。(講師注:これを30回目くらいの回で初めて指摘されて、確かにそうだなと思った次第です。言葉で書いてもらった方が学ぶことが多し改善につながると私自身が無意識に考えていたことが現れたのだと思います。)
- 統計分析の変遷が、障害福祉分野の変遷とかさなって、障害福祉部分野に起きていることの背景を見た
- 統計分析の変遷が、障害福祉分野の変遷とかさなって、障害福祉部分野に起きていることの背景を見た気がしました。ご紹介いただいた本を読んで、自分の中にある歴史を再編し、これからを考えたいと思っています。手計算がとてもよかったです！考えてみれば、計算式やパソコンがない時代から統計分析はあったわけで・・・私にもできることなんだろうと思いました。また、最初にお話しされていたように「わかるように伝えること」が徹底されていて、安心して楽しく参加できました。ありがとうございました！&お疲れ様でした。
- 佐々木先生のユーモアあふれる講義と、ところどころの小話が大変面白く、楽しく受講を続けることができました
- ありがとうございました。引き続きよろしく願います。講師等今後ご相談させて下さい。
- 一度統計を学んでいるにも関わらずものすごい苦手意識があり、また、日常の業務で自分で解析を行うことがほとんどなく知識も薄れて来てしまったため、今回のワークショップで苦手意識を克服する&簡単な解析でいいからできるようになる、というのが目標でした。講義のはじめにアメリカの先生のお話がありましたが、まさしく、佐々木先生も分かりやすく教えることに異常なエネルギーをかけくださっているという

のがひしひしと伝わり、おかげ様で今回の目標を達成できたと思います(今日得た知識を今後本当に活かしていけたら、完全な目標達成です)。しつこく色々質問してしまい先生の瞳孔が何度も開いてしまったと思います、申し訳ありませんでした。他の参加者の皆さんのお邪魔になっていなければいいなと思っています。本当に有意義な3日間でした、ありがとうございました。(テキストを紙でお送り頂いたの、とてもありがたかったです！)

- ずっと画面に向かっていることで頭が痛くなりましたが、とても楽しかったです。ありがとうございました。
- 実証主義、構築主義を説明頂き、哲学まで解説して下さる研修は少ないので大変勉強になりました。分析に至る前の、質問紙の作り方、考え方の研修を開講して下さったらぜひ受けたいと思います。全体を通して、他にない分かりやすい研修だったと思います。ありがとうございました。